

に話をする時、小さい声で物を云うだけです。それから、いつでも、自分の来る事を誰にも云わないようにと申します。私にも死んでももらいたいのでしょうか。私も自分だけなら生きていたくはありません。しかし、全く仰せの通り私のからだは両親のもので、両親に先^まず第一に孝行しなければなりません。それで、本当の事を皆申し上げるのです。……はい、每晚丁度眠りかけると参ります、それから明方までいます。鐘が聞えると出て行きます』

八右衛門の母がこれを聞いてびっくりした。直ちに檀那寺へ急いで寺僧に息子の告白の一切を話して助力を乞うた。高齢で、経験の積んだ寺僧はその話を聞いて驚く色もなく、彼女に云った。

『こう云うことは時々あるものです、始めてではありません、それで御子息も助けて上げられると思います。しかし今大層危い処です。愚僧の見る処では、お顔に死相が現れています、おかめさんがもう一度帰って来れば、もうそれきりです。それで即刻やるべき事をやらねばなりません。御子息に黙って下さい、大急ぎで双方の親戚を集めて、寺へ来るように云って下さい。御子息のためにおかめさんの墓を開けねばなりません。』

そこで、親戚はお寺に集った、墓を開く事を一同承諾したので、僧は一同を墓地へ案内した。そこで、その指図に随っておかめの墓石はわきへやられ、墓は開かれ、棺は上げられた。棺の蓋が取られた時、居合わせた人は胆を寒くした。それはおかめは病気の

前と同じく綺麗に、顔に微笑を浮かべて一同の前に坐つて、——彼女には何等死のあとではなかつたから。しかし、僧は棺の中から、死人を取り出す事を人々に命じた時、驚きは恐怖となつた、それは長い間正坐の形を取つていたにも拘らず、その死体は触わると生きてるように暖かく、しなやかであつたから。

それを葬場へ運んで、僧は筆を取つて額と胸と手足に何か聖い功德のある梵字を書いた。それからその屍をもとの場所へ葬る前に、おかめのために施餓鬼を行うた。

彼女は再び夫の処へ来なかつた、八右衛門は次第に健康と力を回復した。しかし彼はいつまでもその約束を守つたかどうか、そ

れは日本の作者は書いていない。

原註一 日本では死体は普通殆んど正方形の棺の中に正座の形に置かれる。

青空文庫情報

底本：「小泉八雲全集第八巻 家庭版」第一書房

1937（昭和12）年1月15日発行

※原題の「[THE STORY OF O-KAME]」は、ファイル冒頭ではアクセント符号を略し、「THE STORY OF O-KAME」とごまかした。

※「旧字、旧仮名で書かれた作品を、現代表記にあらためる際の作業指針」に基づいて、底本の表記をあらためました。
その際、以下の置き換えをおこないました。

「或↓ある （て）居↓い 又↓また 未だ↓まだ （て）見↓

み (で) 貰↓もら

※以下の語に底本にはないルビを追加しました。

「一寸《ちよつと》 何等《なんら》 先《ま》ず」

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」(区点番号5-86)を、大振りにつくっています。

入力：館野浩美

校正：大久保ゆう

2020年5月27日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランテイアの皆さんです。

おかめのはなし
THE STORY OF O-KAME

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

著者 小泉八雲

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>